

# 北朝鮮による弾道ミサイル発射に伴う学校の対応について

瑞穂市教育委員会

## 1 対応の基本方針

北朝鮮が弾道ミサイルを発射し、緊急に対応すべき事態が生じた場合に備え、以下のような対応をとります。

<弾道ミサイル発射時>

- ・ Jアラート、テレビ・ラジオ、国民保護ポータルサイト等から、危険の状況を把握するなど情報収集に努めてください。
- ・ 学校、教育委員会は、児童生徒の安全確保の観点を最優先に考えて、臨時休業や安全上の対策等を判断します。

<緊急時に備えて>

- ・ 危険を回避するための行動に関する学習を行い、児童生徒の危機管理意識を高めます。
- ・ 緊急時の決定に対応できるよう、普段から学校発の緊急メールにご注意してください。
- ・ P T Aや地域の方々に対して、児童生徒の安全確保のための協力体制を依頼することがあります。

## 2 Jアラート等を通じて緊急情報が発信された場合の対応について

弾道ミサイルは、極めて短時間で着弾します。万が一、弾道ミサイルが着弾した場合には、爆風や破片等による被害が想定されます。弾道ミサイルが日本に飛来する可能性がある場合は、全国瞬時警報システム（Jアラート）を通じて、防災行政無線で特別なサイレン音とともにメッセージを流すほか、緊急速報メール等により緊急情報が伝達されます。冷静かつ適切な対応をお願いします。

### 【Jアラートの例】 Jアラート（ミサイル発射情報・避難の呼びかけ）

- ・ ミサイル発射。ミサイル発射。北朝鮮からミサイルが発射された模様です。建物の中、又は地下に避難してください。
- ・ 直ちに避難。直ちに避難。直ちに頑丈な建物の中、又は地下に避難してください。ミサイルが落下する可能性があります。直ちに避難してください。

### (1) 児童生徒が登校する以前に緊急情報が発信された場合

登校する以前に岐阜県が対象地域として「屋内避難の呼びかけ」があった場合は、安全確認ができるまで家庭において待機してください。

※安全確認とは ①ミサイルが日本の領土・領空を通過したことが確認された場合

②日本の領域外の海域に落下したと推定される場合

### Jアラート（ミサイル通過情報・落下場所等についての情報）

- ・ ミサイル通過。ミサイル通過。先ほどのミサイルは〇〇地方から〇〇へ通過した模様です。不審な物を発見した場合には、決して近寄らず、直ちに警察や消防などに連絡してください。
- ・ 先ほどのミサイルは、〇〇海に落下した模様です。不審な物を発見した場合には、決して近寄らず、直ちに警察や消防などに連絡してください。

ア 午前7時までに安全確認がされている場合は、平常どおりの始業とします。（午前7時を含む）

イ 午前7時より後で午前11時までに安全確認がされている場合は、解除後1時間を経てから授業を開始します。なお、給食は準備しますが、場合によっては品目、品数等の変更をすることがあります。

（午前11時を含む）

ウ 午前11時を過ぎても安全が確認されない場合は、臨時休業とします。

## (2) 児童生徒が登校してから緊急情報が発信された場合

### ①緊急情報発信後～下校まで

- ア 安全確認がされるまで学校内で避難態勢を続けます。
- イ Jアラートによる追加情報の指示に従って行動します。

### ②下校時

- ア 下校時に安全確認がされた場合
  - ・PTA、地域の方々に見守りの協力をいただきながら、教職員の引率や見届けのもと、下校させます。
- イ 下校時に安全確認がされていない場合
  - ・安全確認がされるまで学校に待機させます。
  - ・その後、時間によって、保護者への引き渡しを行います。

## 3 弾道ミサイルが落下する可能性がある場合にとるべき行動について

### **Jアラートのメッセージが流れたら、直ちに以下の行動をとります。**

#### 屋 内

- できるだけ窓から離れ、できれば窓のない部屋に移動する。
- 着弾の恐れがある場合は、以下のように行動する。
  - ・教室等の机のある場所では、机の下に隠れる。
  - ・机のない場所では、イス等の落下物を防げる物の下に隠れる。
  - ・隠れるものが何もない場所では、上から物が落ちてこない、横から物が倒れてこない、移動してこない場所に移動し、低い姿勢で、カバン等で頭部を守る。

#### 屋 外

- 体育・部活動等では、速やかに教室等の屋内に避難する。
- 近くに適当な建物がない場合は、物陰に身を隠すか地面に伏せ、頭部を守る。

#### 登下校時

- 近くのできるだけ頑丈（コンクリート造り）な建物や地下等などに避難する。  
（図書館、学校、スーパー等の店舗、コンビニ、地下道など）
- 近くに適当な建物がない場合は、周囲の状況を十分に確認して、物が「落ちてこない、倒れてこない、移動してこない」場所に、身を寄せる。  
※ブロック塀や屋根瓦、自動販売機、ガラス、外壁、電線等の落下物の転倒物等に注意する。

#### 校外活動時

- 修学旅行・校外学習等校外で活動している場合は、近くのできるだけ頑丈な建物や地下等に避難する。
- 公共交通機関を使用している場合は、運転手や係員の指示に従う。車は燃料のガソリン等に引火する恐れがあるため、車から離れる。

#### 【万が一、近くにミサイルが着弾した場合】

- ・弾頭の種類に応じて被害の様相や対応が大きく異なるため、情報収集に努め、行政からの指示に従って行動する。
- ・屋外にいる場合は、口と鼻をハンカチで覆い、現場から直ちに離れ、密閉性の高い屋内または風上へ避難する。
- ・屋内にいる場合は、換気扇を止め、窓を閉め、目張りをして室内を密閉する。
- ・被害の内容が明らかになったら、新たな指示に従って行動する。

※詳細は、国民保護ポータルサイト【<http://www.kokuminhogo.go.jp/>】を参照してください。